



2024年12月期 決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月14日

上場会社名 株式会社シンシア
コード番号 7782 URL <https://www.sincere-vision.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 中村 研

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 荒井 慎一

TEL 03(5615)9059

定時株主総会開催予定日 2025年3月28日

配当支払開始予定日

2025年3月31日

有価証券報告書提出予定日 2025年3月31日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期の連結業績(2024年1月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	6,539	9.7	484	28.6	468	4.8	301	2.1
2023年12月期	5,961	6.7	377	150.5	446	295.9	295	347.2

(注) 包括利益 2024年12月期 357百万円 (15.2%) 2023年12月期 422百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年12月期	47.25	47.24	11.8	8.5	7.4
2023年12月期	46.68	46.47	13.4	9.9	6.3

(注) 当連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	5,496	2,697	49.1	421.25
2023年12月期	5,479	2,483	44.0	380.03

(参考) 自己資本 2024年12月期 2,697百万円 2023年12月期 2,410百万円

(注) 当連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年12月期	435	421	332	1,888
2023年12月期	246	376	1,177	2,194

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年12月期		0.00		14.00	14.00	88	30.0	4.0
2024年12月期		0.00		19.00	19.00	121	40.2	4.7
2025年12月期(予想)		0.00		10.00	10.00		41.1	

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日~2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,652	1.7	268	44.7	248	46.9	155	48.4	24.32

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年12月期	6,862,200 株	2023年12月期	6,862,200 株
-----------	-------------	-----------	-------------

期末自己株式数

2024年12月期	459,312 株	2023年12月期	519,412 株
-----------	-----------	-----------	-----------

期中平均株式数

2024年12月期	6,386,715 株	2023年12月期	6,329,928 株
-----------	-------------	-----------	-------------

(参考)個別業績の概要

2024年12月期の個別業績(2024年1月1日~2024年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	5,883	3.7	425	6.7	467	1.6	340	6.0
2023年12月期	5,673	7.6	398	171.1	474	278.0	321	295.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期	53.28	53.27
2023年12月期	50.73	50.51

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	5,354	2,727	50.9	426.00
2023年12月期	5,214	2,397	46.0	377.96

(参考) 自己資本 2024年12月期 2,727百万円 2023年12月期 2,397百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(企業結合等関係)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

当連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、行動規制緩和により経済活動は正常化し、さらにインバウンド需要の高まりも加わり、緩やかながら景気は回復基調の動きが見られました。しかしながら、不安定な国際情勢による資源・エネルギー価格の高騰や為替変動による物価上昇など、先行きは不透明な状況が継続しております。このような環境下、当社は、外部環境の変化に対し耐性のある事業を推進することで収益の確保に注力いたしました。

コンタクトレンズ業界におきましては、急速な少子高齢化に伴う人口減少が進んでいるものの、1日使い捨てタイプコンタクトレンズへのニーズのシフトや、高機能新素材レンズの普及により1人当たりの購入単価は上昇傾向にあります。また、スマートフォン等、デジタル機器の普及により近視人口の急激な増加・若年化が進んでいます。さらに、カラーコンタクトレンズ市場の拡大等もあり、コンタクトレンズ市場は緩やかながら拡大しているものと推測しております。このような環境の下、各メーカー間における価格、販路、広告戦略等々の競争が激化していることに加え、市場のニーズから乱視用、遠近両用などの多機能レンズが発売されるなど、製品力強化の必要性も高まっており、当社もそれらに対応すべく販売力、製品力強化に注力しております。コンサルティング事業については、事業運営委託を受けた医療脱毛クリニックの業績も、価格競争など厳しい事業環境下ではありますが堅調に推移いたしました。また、前連結会計年度末より新たなセグメントとして加わったシステム事業においては、2023年11月にM&Aにて獲得したリユース業界向けPOSシステムのリーディングカンパニーである株式会社タロスシステムズの業績を当連結会計年度の期首より連結しております。

このような状況下、M&Aの効果と、主軸のコンタクトレンズ事業が堅調に推移したことにより、売上高は6,539,394千円（前連結会計年度比9.7%増）となりました。利益面では、一部製品の円建て仕入の実施や、為替予約により、期中における為替変動への耐性を強化することで着実な利益確保に邁進しました。さらに、新セグメントのシステム事業においても利益を創出し、営業利益は484,853千円（同28.6%増）、経常利益は468,254千円（同4.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は301,747千円（同2.1%増）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。なお、前連結会計年度末より新たに報告セグメントとして追加したシステム事業については、前年同期比較は行っておりません。

(コンタクトレンズ事業)

当社ブランド製品につきまして、クリアレンズは当社主力製品であるシリコーンハイドロゲル素材コンタクトレンズ「シンシアワンデーS」が眼科医、ユーザーから高評価を得たことから取扱店舗数も継続して伸長し、売上高は1,391,629千円（前連結会計年度比3.9%増）となり、結果、クリアレンズの売上高は3,198,783千円（同2.9%増）となりました。カラーレンズは、クリアレンズ同様、シリコーンハイドロゲル素材の「シンシアワンデーSクレシェ」が336,916千円（同18.1%増）と大幅に増加したことに加えて、「シンシア2ウィークSクレシェ」の売上も好調に推移し708,135千円（同5.7%増）となりました。プライベートブランド商品の売上高につきましては、カラーレンズは、346,730千円（同47.1%減）と減少したものの、クリアレンズは、1,812,175千円（同24.3%増）と増加いたしました。その結果、コンタクトレンズ事業の売上高は6,074,315千円（同2.9%増）となりました。セグメント利益は、628,997千円（同9.1%増）となりました。

(コンサルティング事業)

コンサルティング事業につきましては、2022年末に事業譲渡を受けた、医療法人緑風会が運営する医療脱毛クリニックの運営管理サポートによるもので、売上高は60,000千円（前連結会計年度は60,000千円）、セグメント利益は30,796千円（前連結会計年度比102.8%増）となりました。

(システム事業)

システム事業につきましては、今後、市場ニーズの高まりにより成長が見込まれるリユース業界向けPOSシステムのリーディングカンパニーである、株式会社タロスシステムズの株式51%を2023年11月に取得して連結子会社とし、2024年3月に同社株式の49%を追加取得し完全子会社としております。「メルカリShop」、「駿河屋マーケットプレイス」など大手EコマースプラットフォームとAPI連携、連携強化を果たすなどユーザー拡大に注力し、売上高は405,078千円、セグメント利益は57,516千円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度の財政状態は次のとおりであります。

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ16,702千円増加し、5,496,335千円となりました。主な要因は、流動資産の現金及び預金が305,986千円減少したものの、株式会社タロスシステムズ株式の追加取得により無形固定資産ののれんが239,708千円、投資その他資産のデリバティブ債権が113,759千円それぞれ増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ196,798千円減少し、2,799,092千円となりました。主な要因は、流動負債の買掛金が99,630千円増加したものの、流動負債の短期借入金が返済により150,000千円、固定負債の長期借入金が96,637千円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ213,501千円増加し、2,697,242千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益301,747千円の計上及び剰余金の配当88,799千円により、利益剰余金が212,948千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は49.1%（前連結会計年度末は44.0%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ305,986千円減少し、1,888,377千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に法人税等の支払額179,322千円、棚卸資産の増加額32,704千円等の減少要因に対し、税金等調整前当期純利益468,254千円の計上等の増加要因により435,074千円の収入（前連結会計年度は246,147千円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、子会社株式の取得による支出367,010千円等の減少要因により、421,472千円の支出（前連結会計年度は376,771千円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に長期借入れによる収入127,700千円の増加要因に対し、長期借入金の返済による支出226,567千円、短期借入金の純減額150,000千円等の減少要因により、332,688千円の支出（前連結会計年度は1,177,427千円の収入）となりました。

(4) 今後の見通し

2025年12月期の見通しにつきましては、緊迫する国際情勢、世界的な資源・エネルギー価格の高騰や物価の上昇など、先行きが不透明な状況が続くと予想されます。

このような環境のもと、コンタクトレンズ事業においては、当社ブランド商品として、眼科医等から高評価を得ている、主力製品で高付加価値製品でもある、「シンシアS」シリーズの新製品、「シンシアワンデーS乱視用」を市場投入し製品力強化、販売拡大を図ってまいります。さらにドラッグストア販売の強みを活かしたインバウンド需要の取り込みや、顧客ニーズに対応した製品展開により「アイウェル」シリーズを中心に販売強化を図って参ります。また、コンサルティング事業、システム事業についてもM&Aの推進、並びにPMIに注力し、第2、第3の事業の柱を構築して参ります。

以上の状況を踏まえ、次期の連結業績につきましては、売上高6,652,399千円(当連結会計年度比1.7%増)となるものの、為替の影響から営業利益は268,041千円(同44.7%減)、経常利益は248,770千円(同46.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は155,694千円(同48.4%減)を見込んでおります。今後、業績予想修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。なお、想定年間平均為替レートについては、155.0円/USDと設定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の企業間及び期間比較可能性を確保するため、日本基準にて連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,194,364	1,888,377
受取手形	34,519	18,704
売掛金	1,062,425	1,031,222
商品	979,780	983,633
貯蔵品	77,474	106,325
未収還付法人税等	333	—
デリバティブ債権	193,135	154,194
外国為替差入証拠金	285,777	318,042
その他	116,619	123,265
貸倒引当金	△11,128	△8,556
流動資産合計	4,933,300	4,615,209
固定資産		
有形固定資産		
建物	25,358	26,659
減価償却累計額	△3,490	△4,924
建物(純額)	21,868	21,735
機械及び装置	—	46,500
減価償却累計額	—	△5,177
機械及び装置(純額)	—	41,323
工具、器具及び備品	58,037	58,395
減価償却累計額	△48,839	△52,256
工具、器具及び備品(純額)	9,198	6,139
建設仮勘定	25,575	—
有形固定資産合計	56,642	69,197
無形固定資産		
のれん	176,422	416,131
その他	249,855	232,941
無形固定資産合計	426,277	649,073
投資その他の資産		
繰延税金資産	14,828	2,189
デリバティブ債権	—	113,759
その他	54,905	53,497
貸倒引当金	△6,321	△6,591
投資その他の資産合計	63,412	162,855
固定資産合計	546,332	881,126
資産合計	5,479,633	5,496,335

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	141,847	241,478
短期借入金	1,300,000	1,150,000
1年内返済予定の長期借入金	220,182	217,952
未払法人税等	93,843	80,360
契約負債	74,699	53,550
賞与引当金	12,118	13,962
株主優待引当金	3,619	4,540
その他	272,107	257,804
流動負債合計	2,118,416	2,019,648
固定負債		
長期借入金	779,231	682,594
長期預り保証金	13,000	13,000
デリバティブ債務	5,659	—
繰延税金負債	79,584	83,850
固定負債合計	877,475	779,444
負債合計	2,995,891	2,799,092
純資産の部		
株主資本		
資本金	273,422	273,422
資本剰余金	317,193	300,915
利益剰余金	2,031,300	2,244,249
自己株式	△322,630	△281,425
株主資本合計	2,299,285	2,537,161
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	128,093	181,975
為替換算調整勘定	△16,904	△21,894
その他の包括利益累計額合計	111,188	160,081
非支配株主持分	73,267	—
純資産合計	2,483,741	2,697,242
負債純資産合計	5,479,633	5,496,335

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
売上高	5,961,475	6,539,394
売上原価	4,117,985	4,442,460
売上総利益	1,843,490	2,096,934
販売費及び一般管理費	1,466,473	1,612,080
営業利益	377,016	484,853
営業外収益		
受取利息	24,744	10,013
デリバティブ評価益	74,025	2,815
その他	3,631	3,678
営業外収益合計	102,400	16,507
営業外費用		
支払利息	8,894	16,905
為替差損	18,704	11,239
貸倒引当金繰入額	—	277
その他	4,978	4,683
営業外費用合計	32,578	33,106
経常利益	446,839	468,254
特別損失		
固定資産除却損	536	—
関係会社清算損	0	—
特別損失合計	536	—
税金等調整前当期純利益	446,303	468,254
法人税、住民税及び事業税	125,041	166,080
法人税等調整額	25,790	△6,876
法人税等合計	150,832	159,203
当期純利益	295,470	309,051
非支配株主に帰属する当期純利益	—	7,303
親会社株主に帰属する当期純利益	295,470	301,747

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
当期純利益	295,470	309,051
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	132,921	53,882
為替換算調整勘定	△6,134	△4,989
その他の包括利益合計	126,787	48,892
包括利益	422,258	357,943
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	422,258	350,640
非支配株主に係る包括利益	—	7,303

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	273,422	321,149	1,761,037	△352,302	2,003,307
当期変動額					
剰余金の配当			△25,207		△25,207
親会社株主に帰属する 当期純利益			295,470		295,470
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△3,956		29,673	25,716
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△3,956	270,262	29,672	295,978
当期末残高	273,422	317,193	2,031,300	△322,630	2,299,285

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	△4,828	△10,770	△15,599	—	1,987,707
当期変動額					
剰余金の配当					△25,207
親会社株主に帰属する 当期純利益					295,470
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					25,716
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	132,921	△6,134	126,787	73,267	200,054
当期変動額合計	132,921	△6,134	126,787	73,267	496,033
当期末残高	128,093	△16,904	111,188	73,267	2,483,741

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	273,422	317,193	2,031,300	△322,630	2,299,285
当期変動額					
剰余金の配当			△88,799		△88,799
親会社株主に帰属する 当期純利益			301,747		301,747
自己株式の取得				—	—
自己株式の処分		△16,277		41,205	24,927
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△16,277	212,948	41,205	237,875
当期末残高	273,422	300,915	2,244,249	△281,425	2,537,161

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	128,093	△16,904	111,188	73,267	2,483,741
当期変動額					
剰余金の配当					△88,799
親会社株主に帰属する 当期純利益					301,747
自己株式の取得					—
自己株式の処分					24,927
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	53,882	△4,989	48,892	△73,267	△24,374
当期変動額合計	53,882	△4,989	48,892	△73,267	213,501
当期末残高	181,975	△21,894	160,081	—	2,697,242

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	446,303	468,254
減価償却費	10,359	33,303
敷金償却額	568	568
のれん償却額	4,099	46,730
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△48,348	△2,705
賞与引当金の増減額(△は減少)	148	1,844
返金負債の増減額(△は減少)	12,619	△5,160
契約負債の増減額(△は減少)	35,332	△21,148
受取利息及び受取配当金	△24,744	△10,014
支払利息	8,894	16,905
為替差損益(△は益)	△18,519	△25,116
デリバティブ評価損益(△は益)	△74,025	△2,815
固定資産除却損	536	—
関係会社清算損益(△は益)	0	—
売上債権の増減額(△は増加)	△71,056	47,735
棚卸資産の増減額(△は増加)	△133,477	△32,704
前渡金の増減額(△は増加)	73,285	—
仕入債務の増減額(△は減少)	65,194	98,954
その他の資産の増減額(△は増加)	30,931	18,176
その他の負債の増減額(△は減少)	20,192	△9,159
小計	338,294	623,648
利息及び配当金の受取額	24,744	9,994
利息の支払額	△9,262	△19,579
法人税等の支払額	△108,208	△179,322
法人税等の還付額	579	333
営業活動によるキャッシュ・フロー	246,147	435,074
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△31,211	△25,101
無形固定資産の取得による支出	△10,511	△6,170
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△257,412	—
デリバティブ取引による支出	△18,519	△18,646
デリバティブ取引による収入	16,769	26,970
子会社株式の取得による支出	—	△367,010
敷金及び保証金の差入による支出	△11,392	—
敷金及び保証金の回収による収入	8,314	390
外国為替差入証拠金の純増減額(△は増加)	△72,808	△32,265
その他	—	360
投資活動によるキャッシュ・フロー	△376,771	△421,472

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	950,000	△150,000
長期借入れによる収入	473,300	127,700
長期借入金の返済による支出	△220,702	△226,567
自己株式の取得による支出	△0	—
自己株式の処分による収入	—	4,869
配当金の支払額	△25,169	△88,690
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,177,427	△332,688
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,910	13,099
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,061,713	△305,986
現金及び現金同等物の期首残高	1,132,650	2,194,364
現金及び現金同等物の期末残高	2,194,364	1,888,377

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

企業結合に係る暫定的な会計処理の確定

2023年11月30日(みなし取得日 2023年12月31日)に行われた株式会社タロスシステムズとの企業結合について、前連結会計年度末において暫定的な会計処理を行っていましたが、当連結会計年度に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当連結会計年度の連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、無形固定資産のその他(顧客関連資産)に235,736千円、固定負債の繰延税金負債に79,560千円が配分された結果、暫定的に算定されたのれんの金額は296,042千円から156,175千円減少し、139,867千円となっております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の部署を置き、各部署は製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は製品・サービス別セグメントから構成されており、「コンタクトレンズ事業」、「コンサルティング事業」及び「システム事業」の3つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「コンタクトレンズ事業」は、コンタクトレンズの製造及び販売等を行っております。

「コンサルティング事業」は、医療脱毛クリニック運営に関するコンサルティングを行っております。

「システム事業」は、リユース業界向けパッケージシステムの設計、開発、販売及び保守を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠したものであります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

また、当連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	コンタクト レンズ事業	コンサルテ ィング事業	システム事 業	計		
売上高						
コンタクトレンズ						
当社ブランド						
クリアレンズ	3,107,630	—	—	3,107,630	—	3,107,630
カラーレンズ	670,123	—	—	670,123	—	670,123
プライベートブランド						
クリアレンズ	1,457,434	—	—	1,457,434	—	1,457,434
カラーレンズ	655,036	—	—	655,036	—	655,036
その他	11,250	—	—	11,250	—	11,250
コンサルティング	—	60,000	—	60,000	—	60,000
システム	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じ る収益	5,901,475	60,000	—	5,961,475	—	5,961,475
外部顧客への売上高	5,901,475	60,000	—	5,961,475	—	5,961,475
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,901,475	60,000	—	5,961,475	—	5,961,475
セグメント利益	576,510	15,182	—	591,693	△214,676	377,016
セグメント資産	2,756,176	38,764	568,732	3,363,673	2,115,959	5,479,633
その他の項目						
減価償却費	7,665	109	—	7,775	2,584	10,359
のれんの償却額	—	4,099	—	4,099	—	4,099
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	6,863	659	376,223	383,746	—	383,746

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△214,676千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額2,115,959千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の余剰運用資金(現金及び預金)及び提出会社の管理部門に係る資産等であります。
 - (3) 減価償却費の調整額2,584千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る有形固定資産及び無形固定資産の減価償却費であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
3. 当社は、2023年11月に株式会社タロスシステムズを子会社化しておりますが、同社のみなし取得日を当連結会計年度末としているため、当連結会計年度は貸借対照表のみ連結しております。従って、株式会社タロスシステムズを子会社化したことに伴い報告セグメントに新設した「システム事業」において、売上高、セグメント利益並びにその他の項目のうち減価償却費及びのれんの償却額については記載しておりません。

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	コンタクト レンズ事業	コンサルテ ィング事業	システム事 業	計		
売上高						
コンタクトレンズ						
当社ブランド						
クリアレンズ	3,198,783	—	—	3,198,783	—	3,198,783
カラーレンズ	708,135	—	—	708,135	—	708,135
プライベートブランド						
クリアレンズ	1,812,175	—	—	1,812,175	—	1,812,175
カラーレンズ	346,730	—	—	346,730	—	346,730
その他	8,490	—	—	8,490	—	8,490
コンサルティング	—	60,000	—	60,000	—	60,000
システム	—	—	405,078	405,078	—	405,078
顧客との契約から生じる収益	6,074,315	60,000	405,078	6,539,394	—	6,539,394
外部顧客への売上高	6,074,315	60,000	405,078	6,539,394	—	6,539,394
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,074,315	60,000	405,078	6,539,394	—	6,539,394
セグメント利益	628,997	30,796	57,516	717,310	△232,457	484,853
セグメント資産	2,890,112	33,599	822,786	3,746,499	1,749,836	5,496,335
その他の項目						
減価償却費	12,585	131	18,326	31,042	2,260	33,303
のれんの償却額	—	4,099	42,630	46,730	—	46,730
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	54,521	—	286,439	340,960	—	340,960

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△232,457千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額1,749,836千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の余剰運用資金(現金及び預金)及び提出会社の管理部門に係る資産等であります。
- (3) 減価償却費の調整額2,260千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る有形固定資産及び無形固定資産の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社ビジョナリーホールディングス	997,418	コンタクトレンズ事業
株式会社パレンテ	941,515	コンタクトレンズ事業

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社パレンテ	1,086,151	コンタクトレンズ事業
株式会社ビジョナリーホールディングス	1,011,328	コンタクトレンズ事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	コンタクト レンズ事業	コンサルテ ィング事業	システム 事業	計		
当期末残高	—	36,555	139,867	176,422	—	176,422

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	コンタクト レンズ事業	コンサルテ ィング事業	システム 事業	計		
当期末残高	—	32,456	383,675	416,131	—	416,131

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり純資産額	380.03円	421.25円
1株当たり当期純利益	46.68円	47.25円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	46.47円	47.24円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	295,470	301,747
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	295,470	301,747
期中平均株式数(株)	6,329,928	6,386,715
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	27,925	950
(うち新株予約権(株))	(27,925)	(950)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。